

PDF レポート プレゼント

INSPIRATION MANAGEMENT

チームマネジメントにおいて
必ずやっておきたい5つのこと

2015 年版

INSPIRATION
MANAGEMENT

INSPIRATION MANAGEMENT

チームマネジメントにおいて 必ずやっておきたい5つのこと

2015年版

① 自分の感情をクリアにする



自分の感情をクリアにするというのは、自分が好きなコトや嫌いなこと(物・人・事柄)を知って、それが「なぜなのか?」「好きであり続けるのか?」「嫌いであり続けるのか?」ということについて、自分に問いかけていく作業です。

チームマネジメントの目標や予定というと、数字目標や行動計画に終始しがちだと思います。

そして、その目標について誰をどのように動かそうか?ということに目が行きがちだと思います。

しかし、それを一緒にやっていくマネージャー自身の考えや感情がクリアでないと、必ず行程の中に、不必要な壁を創ってしまうものです。

「まずは自分から!」ということをお大切に「自分に向き合う」ということを常にできるようにしていくことが大切だと思います。

② スタッフの良い所を探して、伝える技術を磨く



どんなスタッフにも、必ず良い所があります。
もし、そのスタッフが「今は落ちてる感じ」だとしても、そのスタッフの人生にはその体験も必要なんだ！と

認め、状況にとらわれず、スタッフの良い所を探し伝えていきます。

良い所を伝える技術は、意外に奥深くて「直接 素敵だね」と伝えることは当然として、その人が受け取りやすい形で伝える技術を磨くことが大切です。

例えば、直接言ってしまうと「プレッシャーに感じる事」があるかもしれない。と感じたら、他の人に伝えてもらったり手紙やメールで伝えるなどの方法も良いと思います。

③ 予測をもとに、行動計画をたてる



2015年は、さらに色々なことに変化を感じそうな年です。最近ではネット上で、あの名経営者の稲森さんが、「会社の運動会に出なかったスタッフに激怒していた。」

という過去の逸話のせいでブラック経営者などと呼ばれるような時代です。

これは、良い・悪いではなく、それほどまでに人々の意識が、それぞれ違いますよ！という時代のメッセージだと感じます。

予測すると、「全員一緒にさせようとする」というのが、時代に受けていないようです。ということは、パーソナルな対応が全てとなります。

パーソナルな対応をしていく時代なんだ！という観点から、スタッフとの行動計画を立てていくことが大切と言えらると思います。

④ コミュニケーションの質を上げる



3にもつながりますが、コミュニケーションの質を上げることが目標達成においても、チームマネジメントにおいても最重要です。

コミュニケーションには、色んな形があります。

例えば、ミーティングでも報告会のようなものもあれば、ディスカッションを促すものもあります。1:1での面談もあれば、数人で行うものもあるでしょう。

様々な形がありますが、質の良いコミュニケーションとは相手と自分の考え・感情が伝えあえた。ということをすると思います。

強引に、誘導しようとしたり、強引でなくとも「説得」しようとしたりするものは、質のよいコミュニケーションでは無いと言えます。

結果に「期待」を含めすぎると、強引になりがちですが、そのようなコミュニケーションはお互いに「疲労感」を残すだけなので、なるべく無くして、お互いがわかりあえる・感じあえるコミュニケーションをとっていくことが大切です。

⑤ スタッフの中でサポートする人を明確化する



アメリカ軍の統計では、上官1人がサポートできる部下の最大の人数は「5名」が限界だそうです。

ここから考えると、自分の考えや気持ち・相手の考えや気持ちをわかちあうのは、5名までが最適だということ

とです。

従業員数が何人であろうと、マネージャーがサポートするのを5名に限定し、その5名がそのまた部下をサポートする方法までを伝える必要があります。

みんなを喜ばしたい！みんなを守りたい！など、経営者・マネージャーには色々な想いがあると思いますが、みんなに貢献するためにも5名に絞ることを**すぐにおこなうことをオススメ**します。

また、これをするのが苦手な人は、それがなぜ苦手なのか？を自分で発見してほしいと思います。

まとめ

1. 自分の感情をクリアにする
2. スタッフの良い所を探して、伝える技術を磨く
3. 予測をもとに行動計画を立てる
4. コミュニケーションの質をあげる
5. スタッフの中でサポートする人を明確化する